

副 議 長 日程第2「議案第25号令和元年度松田町一般会計補正予算（第1号）」を議題とします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第25号令和元年度松田町一般会計補正予算（第1号）。令和元年度松田町一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第1条、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7,102万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ49億5,102万円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和元年6月12日提出、松田町長 本山博幸。よろしく願いいたします。

副 議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

政策推進課長 それでは令和元年度一般会計補正予算（第1号）について御説明をさせていただきます。まず、今回の補正の中には、新規性の高い事業も含まれておりますが、その新規事業の中に既存のですね、事業を取り入れて一般財の削減に取り組むものもごさいますことを、報告をさせていただきます。

それでは8ページ、9ページをお開きください。事項別明細書の2、歳入より御説明をさせていただきます。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金の、社会保障・税番号制度システム整備費補助金でございます。239万1,000円です。マイナンバー番号制度における情報連携を行うため、各機関の既存システムと、情報提供ネットワークシステムの中間に位置するシステムを利用した中間サーバーと、町の住基システムをつなげるための運営費等の補助でございます。今回、補助申請中であった事業費が決定したため、歳出予算額を減額し、新たに歳出同額の239万1,000円を、補助率10分の10として増額補正するものがございます。

次に、国庫補助金、子ども・子育て支援国庫交付金でございます。地域子育て支援拠点事業といたしまして、子育て支援センターファミリーサポート事業の運営に伴う事業費、補助率3分の1で28万円の増額補正をするものがございます。

続きまして、国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金の子ども・子育て支援事業費補助金691万9,000円でございます。この事業につきましては、幼児教育無償化に伴うシステム改修に伴う補助でございます。こちらにつきましても10分の10の補助事業となっております。

続きまして、衛生費国庫補助金、保健衛生費国庫補助金、感染予防事業費等国庫補助金28万1,000円を増額補正するものでございます。事業費に対しまして補助率2分の1の事業でございます。

続きまして国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金になります。スポーツ振興費補助金987万5,000円で、事業参加費等を含めて10分の10の補助事業となっております。スポーツや運動を通して、健康増進に資する取り組みを支援をし、多くの町民のスポーツ参画を促し、健康で活力ある長寿社会の実現を目指す事業に対し、補助される事業でございます。

続きまして、国庫支出金、国庫補助金、商工費国庫補助金の、プレミアム付商品券、これは事務費補助金678万5,000円。また、国庫支出金、国庫補助金、商工費国庫補助金のプレミアム付商品券事業費補助金として、1,275万円で、それぞれ10分の10の事業となります。内容につきましては、歳出で御説明をさせていただきます。

続きまして国庫委託金、総務費委託金、こちらにつきましては関係人口創出拡大事業モデル事業委託金883万5,000円の補正でございます。参加費用等の収入とあわせた10分の10の補助事業でございます。国のほうから採択された事業のため、総務省からの委託事業となります。人口減少や高齢化社会により、地域づくりの担い手不足の課題にですね、地域によって若者等を中心に変化を生み出す人材が地域に入り始めており、関係人口と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されております。この事業につきましても、その、そうした課題解決に取り組む意欲的な地域外ですね、人々との協働、実践活動に取り組んでいく地方公共団体を支援するための事業として支援するものでございます。

続きまして県支出金、県補助金、総務費補助金、市町村自治基盤強化総合補助金、342万円の増額補正でございます。小規模保育事業におきまして、工事

費分とですね、備品購入費分のそれぞれ3分の1の補助事業分として増額補正するものでございます。

続きまして県支出金、県補助金、民生費補助金、子ども・子育て支援交付金、地域子育て支援拠点事業、補助率につきましては3分の1、国庫同額の28万円の増額補正でございます。

県支出金、県委託金、教育費委託金のかながわ学びづくり推進地域研究委託金として、42万3,000円の補正でございます。内容につきましては、歳出のほうで説明をさせていただきます。

続きまして10ページ、11ページにわたります。寄附金になります。一般寄附金1,000万円を補正するものでございます。本年4月3日に、松田町にゆかりのある方から一般寄附金として受けたものでございます。

次に、諸収入、雑入、雑入、コミュニティ助成事業助成金でございます。地域防災組織育成助成金として200万円の補正でございます。防災資機材等整備事業分として、補助率10分の10の事業でございます。

続きまして、諸収入の雑入、雑入になります。先ほどのスポーツ振興費補助金での参加費として、19万2,000円、またですね、関係人口創出拡大事業のモデル事業のイベント等の参加費として10万円、合わせて29万2,000円を増額補正するものでございます。こちらにつきましては、リカレント教育等としてさまざまな取り組みをしていくための参加費を予定しているものでございます。

続きまして、消防費基金収入、消防団員退職報償金基金収入198万9,000円でございます。歳出で御説明しますが、退職された副団長等4名の退職者報償金と同額の報償金基金からの歳入でございます。

続きまして諸収入、雑入、雑入、二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金450万円でございます。クールチョイス「賢い選択」によります二酸化炭素排出削減促進事業に対し、補助率10分の10の事業でございます。

続きまして12、13ページの歳出について御説明をさせていただきます。まず総務費、総務管理費、住宅管理費、使用料及び賃借料88万7,000円でございます。町営住宅の解体等に伴う事故繰越分やその他町営住宅の敷地に伴う借地料となります。

次に、企画費（８）関係人口創出拡大事業でございます。先ほどのとおり、リカレント教育等に伴う報償費、あるいは関係人口創出のためのイベント企画、ワークショップ、そして実施に伴う委託料等総額893万5,000円を補正するものでございます。

続きまして、総務費、総務管理費、電算管理費の（３）電子自治体推進事業負担金補助及び交付金になります。こちらのほうも、先ほど歳入の事業でございます。マイナンバー番号制度における情報連携等を行うための中間サーバーの連携事業の運営費でございます。こちらにつきましては、歳出予算額を27万2,000円減額をし、歳入と同額の239万1,000円にするものでございます。10分の10の事業でございます。

続きまして民生費、社会福祉費、老人福祉総務費の賃金でございます。こちらにつきましては、スクールバスの運転手を計画的に年間確保するために、嘱託員として雇用形態を変えるため56万3,000円を減額補正するものでございます。

続きまして、民生費、児童福祉費（４）子育て支援センターファミリーサポート事業に伴う新たに移転先の運営等に伴う委託料といたしまして、83万9,000円を増額補正するものでございます。

次に14、15ページになります。民生費、児童福祉費、児童措置費（１）保育所運営事業になります。負担金補助及び交付金になります。幼児教育無償化に伴うシステム改修費の負担金691万9,000円の、10分の10の補助事業となるものでございます。（４）小規模保育事業といたしまして、工事請負費小規模保育施設の外壁等の改修工事費として、324万円を増額補正するものでございます。

続きまして、衛生費、保健衛生費（２）感染症予防事業委託料、風疹抗体検査委託料といたしまして、56万3,000円を増額補正するものでございます。

続きまして、衛生費、保健衛生費の環境対策費委託料（10）になります。クールチョイス「賢い選択」における二酸化炭素削減促進事業委託料といたしまして450万円、こちらにつきましても補助率10分の10の事業でございます。主な事業といたしましては、クールチョイス等エコに伴うさまざまなコンテストや、養成講座、あるいはワークショップ、講演会などの経費に充てるものでござ

ございます。

続きまして、商工費、職員給与費、職員給与時間外勤務手当31万2,000円の補正でございます。また、商工費につきましては、地域消費喚起事業といたしまして、いわゆるプレミアム付商品券発行に伴う事業経費でございます。臨時雇用賃金や、プレミアム付商品券事業事務費委託料としては376万5,000円、16、17ページになりますが、プレミアム付商品券事業に伴うシステム改修事業費に伴う負担金147万2,000円、プレミアム付商品券事業の運営費補助金として1,275万円で、人件費を含めてですね、総額1,953万5,000円で、補助率10分の10の事業でございます。

続きまして、消防費、非常備消防費（1）消防団運営事業でございます。副団長1名、分団1名、部長1名、団員1名、合計4名の退職報償金として、歳入同額の198万9,000円でございます。

続きまして消防費、災害対策費（4）消防資機材等整備事業備品購入費でございます。防災備品といたしまして、自主防災会用の可搬ポンプ215万2,000円で、コミュニティ助成金を活用した事業でございます。

続きまして、教育費、教育総務費（1）一般事務経費の報酬218万3,000円の増額補正、そして臨時雇用賃金につきましては162万円の減額補正をし、先ほどのスクールバスの運転手を計画的に年間確保するために、嘱託員として雇用形態を変えるための補正をさせていただくものでございます。

次に（15）かながわ学びづくり推進地域研究事業といたしまして、英語教育の推進等に伴う講師の報償費や、消耗品を含めて42万3,000円で、補助率10分の10の事業でございます。こちらの事業の趣旨につきましては、地域の実情や課題を踏まえ、児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得していただくために、その課題解決に必要な思考力、判断力、表現力、その他の資質等をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組むための態度等を養うため、家庭・地域との連携・協力を得て実践研究を実施し、その成果普及を図るための事業でございます。

続きまして、教育費、保健体育費（1）運動・スポーツ習慣化促進事業費1,007万1,000円でございます。18、19ページにわたります。本事業の目的につ

きましては、ボルダリング等を通じて健康測定、体力測定等の事業から、運動・スポーツ習慣化を促進するものでございます。事業といたしましては、報償費、ボルダリング等の指導者の謝礼、委託料、そして健康等への意識調査や体力測定業務、そして健康度測定業務等の委託料の経費によるものでございます。

予備費につきましては、1,123万9,000円を増額するものでございます。

20ページから25ページにかけては、職員等給与費明細書を添付しております。こちらのほうにつきましては、その他の特別職といたしまして、先ほどのスクールバス運転手の報酬218万3,000円、そして商工費の時間外勤務手当31万2,000円の増額によるものでございます。

最終ページに、参考資料といたしまして、工事予定箇所説明資料とし、小規模保育施設工事の平面図を添付させていただきました。

以上で一般会計補正予算について、御審議のほどよろしくお願いたします。

副 議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。

3 番 井 上 何点かございます。まずページ、ページ13ページのですね、関係人口創出事業について、今の説明ですとですね、ここで国のほうの補助金がついたという形です、事業化をされるということだと思います。これにつきましてですね、その補助金等が地方創生のようにですね、10分の10というのは続くということではないかと思うんですけども、今後のですね、この事業の継続性を考えた上で、そういった補助金というのが継続するのか。そういう補助金が続かなければですね、このリカレント教育の推進等の事業、関係人口創出事業というものをですね、持続させていくのか。また、来年度以降のですね、方向性としてはどういうふうな方向性を持っているのかということをお聞きをしたいと思います。

2点目といたしましては、19ページ、19ページですね。の中の、スポーツによる地域活性化推進事業ということで、これもですね、同じくスポーツ振興の補助金があるということで、その補助金の継続性とですね、あわせてこの事業をですね、どういうふうな形の中で健康教育として進めていくのか。例えばその、ボルダリング等を使ってということと、健康度測定ということでの

で、対象者をですね、どういうふうに考えていただけるのか。そうすると、そういう高齢者なのか、壮年者なのかというあたりとですね、日ごろの健康教育事業とこういったスポーツによる地域活性化事業を、どういうふうな形で結びつけていくのか。また、来年度以降のですね、方向性としては、どういうふうにしてその健康教育のほうを進めていくのか。その2点をお伺いをしたいと思います。

副 議 長 それでは1点目、関係人口創出拡大事業、この関係について回答をお願いします。

定住少子化担当課長 それでは1点目の御質問についてお答えいたします。関係人口創出拡大事業についてでございます。事業の継続性ということについてでございますが、まずこの事業については、国からの委託を受けた中で関係人口を創出していくと、拡大していくという話の中でですね、市町村、全国の市町村がそのモデル地域となってその事業を推進していくことで、関係人口の拡大に向けた事業展開を図っていくというようなものでございます。

この事業そのものはですね、委託事業としましては今年度、単年度のみという形になります。ただ、この事業につきましてはですね、継続性を持った中で今後も引き続き実施をしていくことを念頭に置いた上で、事業展開を図っていくというようなことが規定上でございます。町で活躍される方を中心にしながら、外の人を呼び込む方と連携しながら、町民の方と一緒にですね、本事業の推進をしていく、実施をしていくということの中で、町民の方を中心にしながら、自立運営可能な体制づくりをあわせて行っていくというようなことで実施していくということでございます。

また、この事業につきましては、冒頭の説明にもございましたとおり、一般財源を通じた中でですね、一般財源の部分をこの中で使用させていただくというようなこともございますので、あわせてその部分は、その事業の中で連携しながらやっていくような形にしていきたいというふうに考えてございます。以上でございます。

副 議 長 続きまして2点目、19ページ、スポーツによる地域活性化。

子育て健康課長 運動・スポーツ習慣化促進事業につきましてはですが、こちら一応補助は単年度ということで、事業としましては松田町にありますこのボルダリングをです

ね、利用して、ボルダリングを実施する前にですね、体力測定と健康度測定をまず実施して、どういう状態かということでスタートして、ボルダリングを続けていく中で、まあ、何ですかね、個々の能力に応じて、筋力アップが必要だよという方につきましてはトレーニングジムを利用させていただくという形で、運動の習慣化を目的としてございます。補助が終わった翌年度以降は、御自分で文化センターのボルダリングとか、トレーニングジムを続けて、自分ですね、運動を続けていただくということが目標となっておりますので、楽しく続けられるような形で事業を進めていけるように、ちょっと工夫をしていきたいと考えております。

一応ですね、今のところでは働いている方、子育て世代の女性、高齢者ということで、3つターゲットにしてございます。こちらですね、応募状況を見まして、こう、クラス分けをしていくように考えてございます。

3 番 井 上 まずページ13ページのほうのですね、関係人口創出のほうとしては、今年度一般財源でやってる部分の対応を補助金を導入した事業ということについてはですね、理解をいたしました。

委託事業の内容としてですね、多分これはかなり、723万6,000円という内容をですね、今年度はそういった財源が当たるということといいとは思いますがけれども、ただ、これの同じような規模をですね、来年度以降も続けられるのかということも含めた中でですね、やはり今年度のその国からのモデル事業ということで、いろんな制限とか内容についてですね、指定とかはあるかと思えますけれども、できるだけですね、継続性を持たせるような、まあ先ほど自立運営の方向性でというふうな説明もありました。やはり自治基本条例の中の協働というところをですね、単に行政がやる役割をですね、町民になすりつけるのではなく、やはり行政と町民とが互いのさまざまな考えをですね、練ることによって、こういった事業を進めていただければですね、ある程度継続性を持った事業になるのかなというふうに思いますので、その辺についての考えがありましたら、説明をお願いをしたいと思います。

2点目のですね、ボルダリングのほうの関係で、そういったスポーツと健康を結びつけていくというところはすばらしいのかなというふうに思いますけれ

ども、対象者としてですね、なかなか働いてる方と、あと子育てとか、あと高齢の女性というふうな説明があったかと思うんですけども、なかなかその3者ともですね、それがすぐにボルダリングの教室的なものに結びついてくるというところですね、やはりそれなりの工夫なり考え方がないと、まああとは、今までやってるそういういろんな健康教育とか健康運動のための教室という、そういった教室をつくる、それで指導者がいて、その中からその教室を卒業した人たちが自主的な中で、そういったスポーツとか運動を続けていくというやり方の中でですね、なかなか難しいところがあるのではないかなというふうに感じる場所があります。どういうふうな形でですね、その、ことしせっかくついた財源をですね、生かしていくのかについてのですね、やはり参加者を、対象者を念頭に置いたそういった説明をお伺いをしたいと思います。よろしくお願いたします。

副 議 長            それでは1点目。

定住少子化担当課長    継続性をというお話の中で、やはりこの事業としましては、町、行政側とあと町民の方、並びに関係案内人ということで外部の方といった形の中で、連携をしながらやっていくというお話の中で進めていく事業でございます。常にですね、協働、連携協力ということを念頭に置きながらですね、今回の事業をやっていく中で、一つ町民の方でも自主的に運営をしていくということが可能になっていくというようなきっかけになっていただければなというふうに思っておりますし、それをもってですね、町も協力しながら来年度以降も継続してというようなことにつなげていきたいというように考えてございます。以上です。

子育て健康課長        ふだん運動が足りないのではないかという方をターゲットということで、働いている方という形になってるんですけども、こちらの場合は時間帯を夜間という形で考えております。あとですね、子育て世代の主に女性と高齢者という形なんですけども、こちらのほうはですね、ちょっと時間帯の設定とか、まだこれからなんですけれども、働いてる方と違ってですね、子育てというので、遅い時間というのはちょっと厳しいと思いますので、ちょっとこころはまた詰めていきたいと考えております。

副 議 長 はい、よろしいですか。ほかに質問は。

1 番 平 野 今回の井上議員の質問にちょっとかぶるところもあるんですが、私もやはりこの、今と同じ2カ所がちょっと気になっているんですけれども。まず関係人口創出の事業に関してなんですけれども、説明の中で国から、総務省からの委託の事業だというようなことがありましたけれども、何かそういう条件であるとか、クリアしなくてはいけない目標であるとか、何かそういうものがあるのならお聞かせください。

それと、スポーツのほうの事業なんですけれども、これもやはり、ちょっと先ほど総務文教の委員会などでも少しは聞いたんですけれども、今のお話も聞きながら、やはりその、ふだん運動が少し足りないのではないかというような方に向けてというような意識があるとお話なんです、ふだん運動不足の方にボルダリングというのはかなりのハードルではないかなと、ちょっと心配をしてしまうんですけれども、むしろそのふだんから余りそういう習慣がない方に無理なく続けられるような、そういうスポーツを考えたほうがよろしいのではないかなと思いました。これがそのボルダリングに限られているのかというのがちょっと気になりますが、どうなのでしょう。

定住少子化担当課長 それでは1つ目の質問に対してお答えさせていただきます。このモデル事業につきましては、大きく4つの区分に分かれた中で、国のほうが申請を、応募したというような…あ、ごめんなさい。募集をしたというような経緯がございます。松田町におきましては、その一つであります都市住民等の地域への関心を醸成する取り組みというようなことで、地方公共団体が都市部に所在する個人、企業、その他の団体、例えばNPOですとか、大学のゼミ等と連携をした中で、都市住民等への地域への関心を高めるための取り組みを行っていくというようなことがございます。都市住民の方とのかかわり合いを持っていくことで、関係人口につなげていく。その中で学びということをキーポイントに置きながら、この事業を進めていくというお話の中では、やはり今、お話しした個人だけでなく、企業ですとか団体との連携ということが、まず前提としてあるというようなことがございます。そういった方が、いわゆる関係案内人という言い方をするんですけれども、関係人口を創出するための仕組みづくりを一緒

にやってくというような体制づくりの中で、この事業展開をしていくというようなことが一つ条件になってるところでございます。以上でございます。

子育て健康課長 当初ですね、町でつくったボルダリングのほうの利用者が少ないので、それを利用して事業を行おうということと、引き続き、その方たちが使っていただけるようにということで、それと健康づくりをあわせてという形ですので、初めてやる方とか、ふだん運動してない方にボルダリングがきついと言われてしまうと、ちょっと対象者を考えなくてはちょっといけないかなとは思いますが、初心者向けの壁から上級者向けまでありますので、なるべく初心者向けの壁で楽しさを味わっていただくような形で継続していただけるように、努めていきたいと考えております。

1 番 平 野 少しわかりかけました。先ほどの関係人口のほうですかね。都市住民の関心を喚起するということの取り組みに松田は該当するということで、今回の委託が決まったということですね。企業や団体が連携してくださるというようなもくろみも、恐らく何となくはあるんだと思います…あるんですよ。ちゃんと事業がうまくいくことが予想されるんですが。やはり委託ということで、やはりどこかの団体やそういうところに頼むということになると、また今度都市住民へのアピールと同時に、町内のほうのね、町民へのアピールもすごく大事になってきますので、そういうところをうまく調整しながら進めたいと思います。

あと、スポーツのほうなんですけれども、今の説明を聞いていると、まずボルダリングありきというようなことだったのでしょか。

子育て健康課長 現行ですね、町で実施していますボルダリング教室の費用を、こちらの費用を充てるという形も含まれておりますので、ちょっとそういう形で。

1 番 平 野 ボルダリングはボルダリングでね、利用者がふえてほしいという気持ちはもちろんあるんですけれども。この目的というのがね、こういうふうに健康づくりと連動して、こういうスポーツとがね、結びつくということで、先ほど井上議員のおっしゃったように、すごくいいことだなと私も思ったんですが。ボルダリングとトレーニングジムもきのうの説明では入っていましたので、何か無

理のない形をもっていかないと、かなり幾ら初心者向けの壁であっても、なかなか高齢者がいきなりというのはちょっと難しいかなと、ちょっと思うんですけども。何ですかね。その辺の縛りがあるものなんですか、この補助金は。

教 育 課 長 個々の能力に応じて、講師の指導のもとボルダリングを行うというものもあります。状況に応じまして、トレーニングジムにて筋力アップを実施した中で、体力測定、健康度測定のデータの推移を参加者とともにデザイン化することによって、運動の意欲の向上を図るというものもございますので、必ず縛るということではなくて、指導のもと、ボルダリングを行うんですが、状況に応じてということで、トレーニングジムも筋力アップというのを実施するものもございます。

1 番 平 野 何かボルダリングからなかなかやっぱり離れないので、やっぱりそれがありきのことなんだなというのが、何となくうっすらわかったんですけども。ちょっとこの間も健康の見える化事業の講座にも、私ちょっと出席していたんですけども、松田町は実は継続的に運動している率が意外と低いというふうなデータから出たところがあって、それを聞いたとき、本当にびっくりしたんですね。この町は意外とスポーツに力を入れているというふうにちょっと思っていたものですから。つまり、結局イベントで終わっちゃってるのかなという危惧があります。チャレンジデーなんかも、すごくその日は盛り上がっているんですけども、継続して健康のために運動していくという意識が、まだ町民の中に根づいていないのかなというのがあります。やはり、そういうところを考えると、ボルダリングやトレーニングジムをせっかくつくったんだからということももちろんあって、これももちろん活性化してほしいんですが。この目的がダブっているので、長い目で見て習慣化していくスポーツというふうに考えると、何ていうか、こだわらなくてもいいのかなという。松田町にはいろいろなスポーツされてる方がいらっしゃいますし、もしこういうデータ化を取っていくのなら、ほかのスポーツでも取っていったらどうなんだろうななんて思うんですが、どうでしょうか。

町 長 御質問ありがとうございます。すいません、ちょっとうまく説明ができないみたいで。この補助金を取りに行くに当たって、ボルダリングがありきという

ようなところの話は、確かになくはないです。ただ、このボルダリングがなければ、多分この補助金も取れてないと思うんですね。なので、ボルダリングという切り口で取りに行ったということです。その中で、今、平野議員が懸念されているように、難しいところをやりながら、ここで習慣化するためのデータを取り、傾向と対策を練りながら、ほかのスポーツだとか運動とかいうものにも同じ情報共有をしていくということが一つの目的にもなっているんですね。なので、この中の細かいところで言うと、健康測定をやったり、健康測定に対するまた指導もしたりだとかということもありますから、ボルダリングのあそこの中で、ボルダリングするところもありますけど、大ホールというのはまたほかの使い方もありますしね。ただ、そういったものもボルダリングをやりながら並行し、一緒にやっていく。例えば、この間、健康体操を各種目幾つかやりまして、忍者体操とかありましたよね。ああいったことなんかも手前でやろうと思ったらできますし。ということをして、せっかく一つボルダリングというやりながらプラスアルファとして、その費用と時間を使って、あの場所でまたやっていくという。またこれから細かいところはいろんな方々を巻き込みながら、やっぱりやっていきつつ、今現在やってる一般財を突っ込んでやってるところの費用を、そこをかぶらせて、多少はちょっと持ち出しをしない流れでも同じことをやっていきながら、きちっと参加者の人たちの健康のデータを取っていくといったところの事業になってくることになってますので。確かにボルダリングというものの切り口がなければ、ひょっとしたら採択も受けられなかったのかなというふうなところは、いつもいつも叱られるんですけどね。横文字はということありますけど。やはり、国の方々とすれば、やはり新しいスポーツの中から、運動の中から、こういったデータを取っていくんだというのは一つの切り口だったというふうに御理解いただければというふうに思います。以上です。

副 議 長 よろしいですか。ほかに質疑のある方おいででしょうか。

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論省略とのお声ですが、討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第25号令和元年度松田町一般会計補正予算(第1号)について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。